KANEYAMA PUBLIC RELATIONS
2010.8
No.572

■編集・発行／山形県金山町役場　〒999-5402 最上郡金山町大字金山324-1　TEL.0233-52-2111　FAX.0233-52-2004
E-mail info@town.kaneyama.yamagata.jp　URL http://www.town.kaneyama.yamagata.jp
■印刷／有限会社みどり印刷

おらほの歳時記 ～2010～

方角によって様々な形を見せる薬師山。西側からはふっくらとした森が、集落を優しく包み込むような美しい姿です。

尊崇の氏神にして日々親しむ山
薬師山の郷　飛森

みちのくを旅したイザベラ・バードが上台峠に立ち、そこから観た金山を「ピラミッド状の山が連なりロマンチックなところである」とその旅行記に記していることは町民誰もがご存知のことと思います。そのピラミッド状の山が薬師山、中の森、熊鷹森の「金山三峰」と称される連山です。

飛森地区は、その薬師山の麓にあり国道十三号線と国道三百四十四号線に挟まれた戸数四十戸の集落です。地区名の由来について長老によれば、「山頂に薬師神社を建立して以来薬師山と呼ばれるようになったが、それ以前は東の熊鷹森に対して西の鳶（とび）の森だった」そうです。それがいつの間にか飛の森になり、ふもとの集落を飛森と称するようになったと言われています。土地の字名に森下とあるのがその名残りでしょう。

みちのくを平定した征夷大将軍坂上田村麻呂が新庄方面からこの金山の地に入り、この地を遠征の中継地（駅）とし、平矛（ひらほこ）と称したとする歴史書がありますが、周囲を見ても平矛のような山は存在しません。それは神室山だとする説が有力ですが、どう見ても平矛には見えません。歴史研究家であり、金山中学校の教師をされた故渡辺司先生によると「田村麻呂は舟で最上川から上り真室川で上陸し、朴山を経て金山の地に来た」という説を唱えていたのを思い出します。

なるほど、朴山野から見ると薬師山がそのままそっくり平矛の形です。諸説ありますが、最も興味深い説だと思われます。ひょっとすると平矛山かも知れない薬師山の麓に我々地区民が住んでいるということをよく考えてみると非常に面白く興味深く感じてしまいます。

地区内には前記の薬師神社をはじめ他七ケ所に神社や祠（ほこら）があり、その時節時節に合わせた祭事を行っています。そして地区民によって境内の清掃や草刈りが行われて心のよりどころとして存在しています。

祭事以外の主な行事としては、

正月　元朝の礼（地区の新年会）
一月　おさいとう
五月　さなぶり（草刈り、花植え、薬師山登山道整備）
七月　レクリエーション大会
八月　作場道・ため池草刈り
十月　契約講（地区自治会総会）

等があります。また、自治会の他に老人クラブ・子供会・消防団・婦人会が活動するとともに、農地・水・環境保全向上活動の組織として発足した「環境を守る会」と自治会等と連携しながら独自の活動を進めています。

文＝三上　貞宏（飛森）

老若男女、みんなできれいで美しい飛森の地域づくりに励みます。